



菅原 達 議員(公明党議員会)

質問方式 一問一答

「子どもの居場所」づくりの推進について

Q 子どもの居場所には食事の提供や学習の支援に加え、入浴や洗濯等家庭の機能を補完する役割を担うことが理想だが、負担の大きさがネックとなり、普及の足かせとなっている。そこで、まずは居場所の普及を図ることを目標とし、食事の提供と学習支援に限定した居場所づくりを推進すべきと考えるがどうか。

A ことも福祉部長

県では、食事や学習面などで子どもを支援する「子どもの居場所づくりサポート事業」を平成29年度に拡張する方向で検討しています。現在モデル事業として行われている支援のうち、食事、学習支援を必須とし、入浴や洗濯等は任意で、週4日以上の運営を想定するなど条件緩和をしています。本市としても担い手であるボランティア団体や社会福祉法人等が活用したら県の事業を活用し、支援していきたいと考えています。

その他の質問

☆「子ども食堂」の推進について  
☆フードバンク開設について



久保 貴洋 議員(自民佐野)

質問方式 一問一答

小中一貫校について

Q 田沼西地区小中一貫校の学校名は既に決まっているのか、決まっていなるとすればいつごろ、どのように決めていくのか伺いたい。

A 教育総務部長

学校名については、田沼西地区の児童生徒、保護者、地域の方々に校名案の募集を行い、87件の応募の集計結果をもとに開校準備委員会の総務部会で3つの案を選定しました。検討の要点として学校が立地する地域の歴史性や特色、市立学校の名称としての適格性、わかりやすさ・親しみやすさ等を考慮し、開校準備委員会において案を審議し、結論を出します。その後、教育委員会や市長部局、議会での審議を経て正式に学校名を決定したいと考えています。時期については、その後の校歌や校章の作成等の協議を経て、平成29年度中を目途に決定したいと考えています。

その他の質問

☆公共施設について



▲ 田沼西中学校(現在)



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

質問方式 一問一答

※デマンド交通の推進について

Q デマンド交通は、今後超高齢化社会が進む中、必要不可欠な交通手段である。ドア・ツー・ドアを目指すデマンド交通が整備されれば、運転免許証の早期返納も進み、交通事故防止につながると考えるが、現在の検討状況と今後の取り組みを伺いたい。

A 市民生活部長

検討の状況としては、まずは公共交通空白地域での地域内交通として試験的に導入することが望ましいと考えており、吾妻地区において町会役員に対する勉強会を実施しました。その後、制度設計のための行動実態調査を全戸にお願いし、現在集計中です。今後の取り組みは、行動実態調査結果を分析し、先進事例調査やタクシー事業者等へのヒアリング結果を参考にして、運用区域の設定や運行時間、運行経費の試算等を行い、モデルケースとしての制度設計を進めていく予定です。

その他の質問

☆唐沢山城跡の観光推進について

※デマンド交通とは・・・  
予約型の運行形態の輸送サービス。利用者が電話などで乗車を予約し、乗り場や行き先はエリア内なら希望できる。利用がいなければ走る必要がなく、小型車で済むことから、経費削減やバスが走れない狭い道でも運行ができる